
ADULT ONLY
R18
18歳未満の購入・閲覧禁止
敗北隷嬢


…というわけで
宝を捜しにその遺跡に入った者は必ず行方知らずとなり二度とは戻って来ないともっぱらの噂になっていまして
おかげですぐ近くにある我々の村にはすっかり人が寄り付かなくなりましてね


…俺らの村はただの平和な片田舎だったってのにここ数年で一気に来訪者も減りました


この「必ず行方不明になる」という噂が真実なのか…
どうにか確かめたいのですが
我々の村には戦える力のある者はもうおりませんで
そこで…魔女であるシュガー様のお力をお借りしたいのです
ふ〜ん？それでこの私を訪ねて来たわけね
ま、正直あんたらのクソ田舎のことも遺跡のこともどーでもいいけど
その奥に眠るお宝ってのは興味あるわね


その場所がどうなってるかの調査ってのができさえすりゃあお宝はどうしようが私の自由なんでしょ？
え、ええ…どうせ我々のようなただの村人風情には身に余る代物ですからね
調査報告さえして頂ければ中にある物をどう扱おうが
シュガー様の自由です…！
なら良し！
その話この魔女シュガーが受けてあげるわ
ま、安心なさい遺跡から見事に帰還して私が生き証人になってやるから
たぷん♡


ふ～む
中はフツーによくある遺跡ってカンジ


ス…


だったらここで鉢合わせた魔物をテキトーに討伐しながら


奥にあるとかいうお宝持ってココから出ればいいだけじゃん


長期間人間が使ってなかったから中に魔物が住み着いちゃってそれを知らずに入り込んだヨソ者が食われてるってだけでしょうね…
コッ
コッ
コッ


ボッ
ヌッ
ウッ

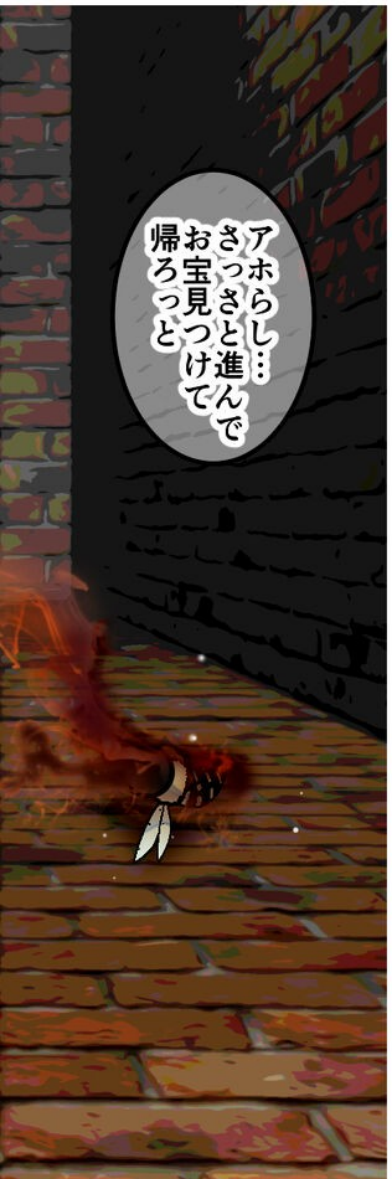

ほらね…
このシュガー様にかかれば
余裕
余裕っ♪
ニギッ


ズッ
!?


このっ…！
ボッ
ヘッ


…チッ
この私の肌に
勝手に
触れるから
こうなるのよ！
…最初のがデカかった分、
こっちは小型すぎて
存在にすら
気付かなかった
ボトッ


もしかして
最初に襲ってきた
デカイのは
囮で
このチビに
攻撃させるのが
狙いだった
ってのの…？
…いや
こんなクソ田舎の
遺跡に
そんな知能がある
魔物なんて
居るわけないわよね


アホらし…
さっさと進んで
お宝見つけて
帰ろっと

…はあ…はあ…

…明らかに体調がおかしい

はー…

はー…

…発熱症状…毒の一種？

さっき倒したあの小さい魔物

私に触れたあの一瞬…

もしかして毒を注入されてた？

これまでの行方不明者はこれが原因で体調不良になってその間に魔物に食われてるってオチ？

…フン…ちょっと熱が出るくらいの毒がなんだってのの？

コッ…コッ…

ズルル…

この程度の体調不良で私を足止めできると思ったら大間違い！…

ズニ…

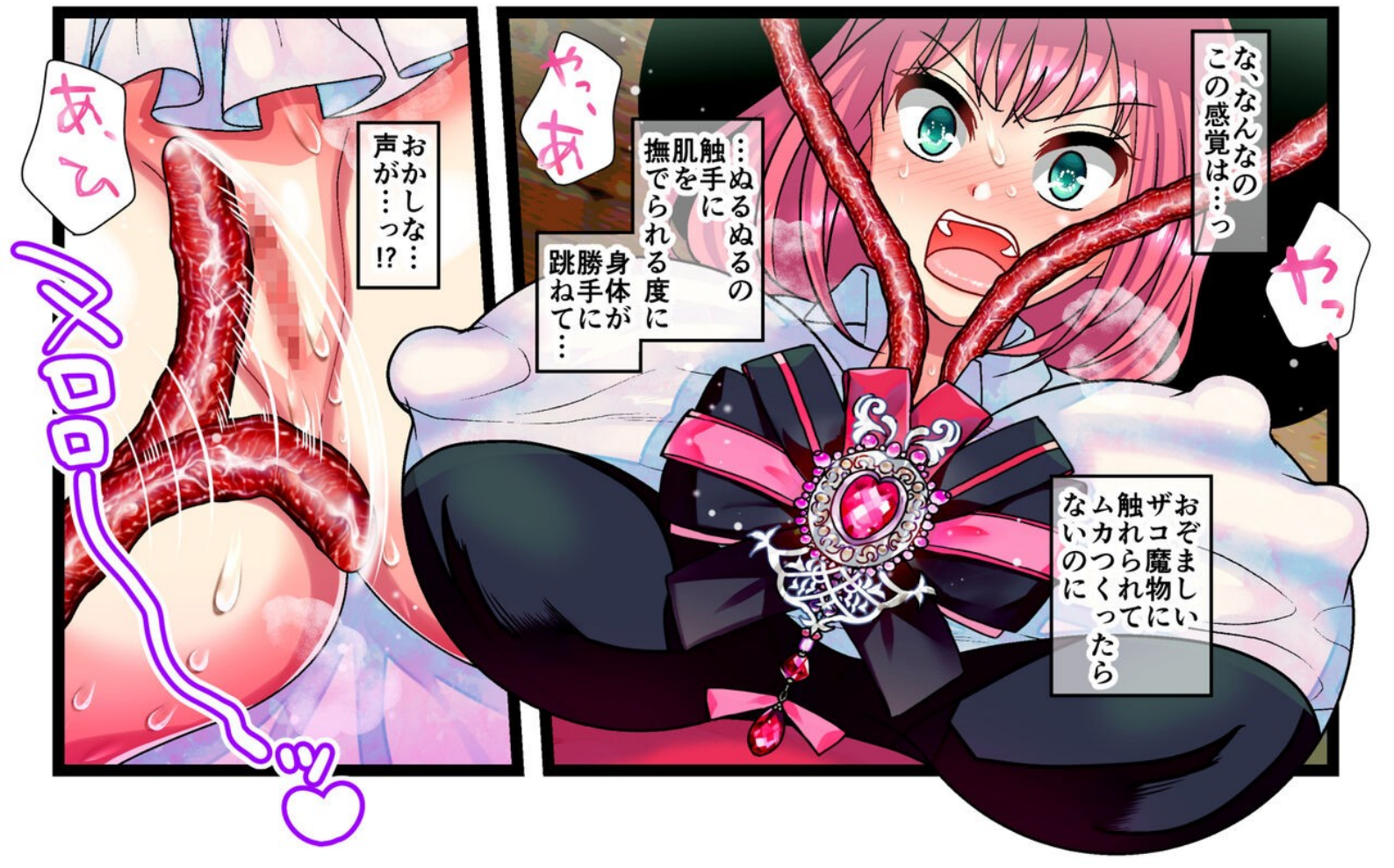
ズニ…

ふー…

ふー…


ぐぐぐ
え…？
ぐぐぐっ
な…っ
ヌポッ
ブポッ
しまった！熱のせいで意識が朦朧としがちで
ぐぐぐ…
こんなに存在感のある魔物の気配にまで気付けなかったなんて
不覚！…

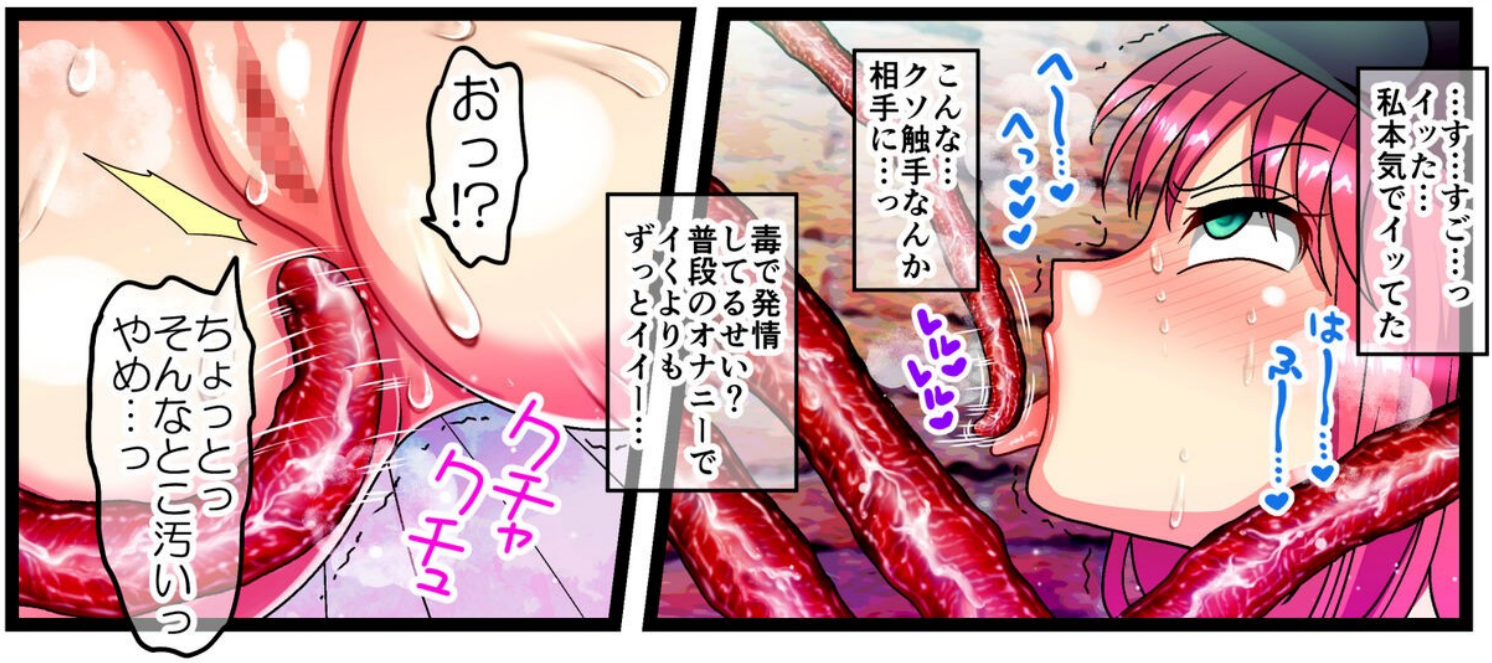

スルスル
…おっ!?


な、なんなのこの感覚は…っ
やっ
おぞましいザコ魔物に触れられてムカつくったらないのに
…ぬるぬるの触手に肌を撫でられる度に身体が勝手に跳ねて…
やっ、あ
おかしな…声が…っ!?
あ、ふ
ヌロロ


ビリッ
ああっ…私の装備が…高かったのよコレっ！
ビリビリッ
ダメダメッこんな格好になったら触手が肌に触れるのをますます防げなくなるじゃないっ
ズルッ
でも…体、重い…普段通りには動けない…
ガッ
あ、
くっ!?武器まで奪われてー…
あっ
ヌッ
…ッ!?私の身体妙に敏感になってる？
ヌッ
やめっ
ヌリュ
あ、
というか…発情…してる…？


ヌチュ
ヌトッ
ぐっ…
ずっと身体が火照っていたのもそれが原因？
これが毒の本当の効果…!?
ヌチャ
ヌチャ
いやぁ…
ヌチュ
ヌチョ
あっ嘘っ…この感覚…っ…このままコイツらにしごかれ続けたら私ー…


グニュ
ぐぐぐ
らめっ
グチュ
ぐぐぐ
グチャ
あ、
ぐぐぐ
グニャ
あへぇ
ゴシゴシゴシ♡
ゴシゴシゴシ♡
あ、
イくっ!?


…す…すご…っ
イッた…
私本気でイッてた
はー…♡
ふー…♡
へー…♡
へっ♡
こんな…
クソ触手なんか
相手に…っ
ヒクヒク
毒で発情
してるせい？
普段のオナニーで
イくよりも
ずっとイイ…
おっ!?
クチャクチュ
ちょっとっ
そんなとこ汚いっ
やめ…っ


ズポッ
あ、
ぐぐっ♡
ぐぐっ♡
ぐぐぐ～♡
ぱっ♡
ヒクヒク
ヒクヒク
ヒクヒク


どぷっ
ごぷっ
あ…っ
な、なに…!?
お尻に何か
流し込まれてるっ!?
ぼっ
どくっ
すごい勢いで
液体がー…
むりゅりゅっ♥
私のお腹に
入り込んで…っ
こんなの…っ
お腹…
パンパンに
なっちゃうぅ…
お!?
お!?
おお…?
ぽっこんっ
ぽっこんっ
お…!?
どくっ
どぷっ


ぐぅ…
ブルブル
お尻の栓になってた触手が抜けて…
ヌポン♥
ぬちゅ
…あ…ああ…っ？
お腹…痛い…っ！
ハァッ
ハァッ
ボコルルル…ッ
ドサッ
このままじゃお腹の中に出されたモノがー…
ヤバっ
ブブッ
ブスッ
ブポッ


全部っ
一気にっ
ぶりゅりゅりゅ
プルルン♥
おうっ♥
出るうぅんっ
ビクビクビクッ
おほっ♥
おほおおっ♥

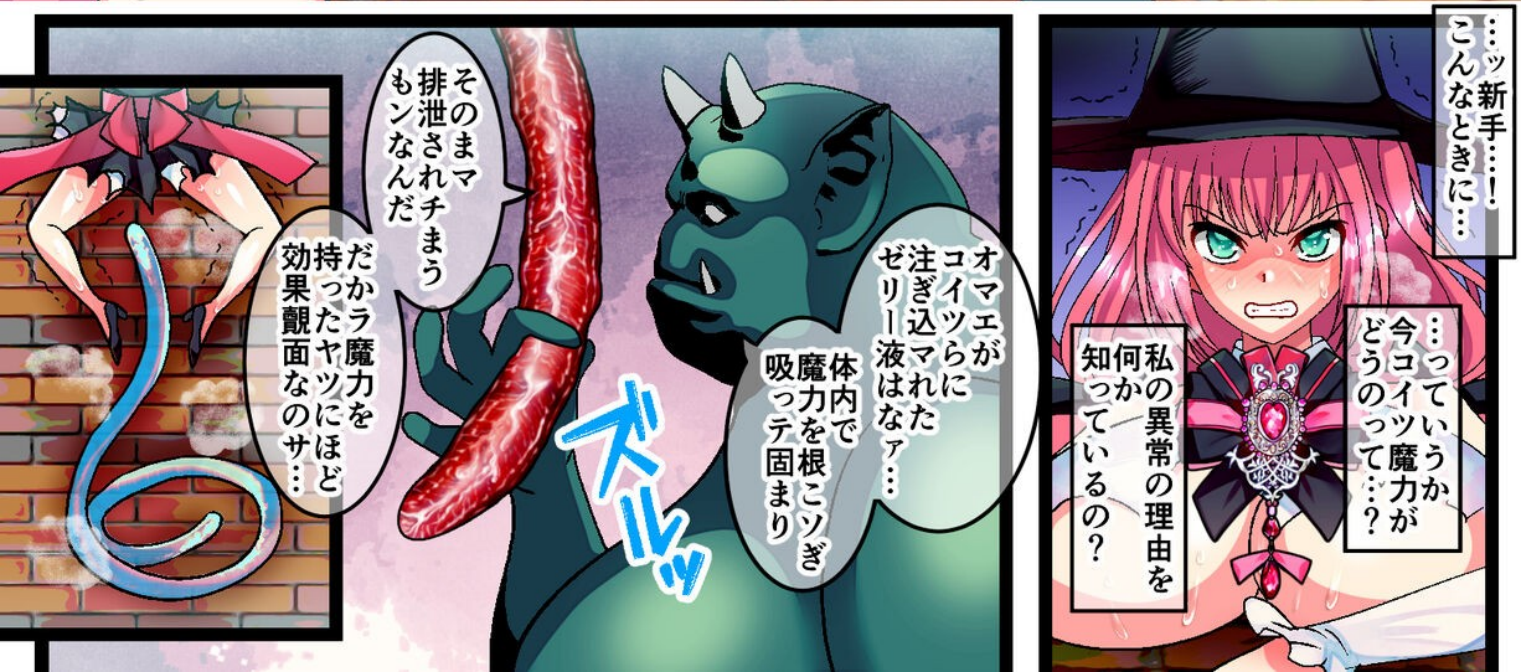

おっ♥
おおっ♥
ぐりっ♥
ぐりっ♥
ぐりっ♥
ブズズ


え…な、何これ…お腹に出されたのが全部出たから苦しいのは治ったけど…
「何か」おかしい…
ビクッ
ビクッ
ぶるぶる

力が…魔力が…いつものようにみなぎって来ない…？
何なのよ…この脱力感は…っ
びくっ
びくっ


おおおおすげえナこりゃア
!?
ビクン


ズン
ズン
そんだけ魔力ひり出してりゃアしばラく動けもしねエだロ


…ッ新手…！こんなときに…
…っていうか今コイツ魔力がどうのって…？
私の異常の理由を何か知っているの？
オマエがコイツらに注ぎ込まれたゼリー液はなァ…
体内で魔力を根こソぎ吸っテ固まり
ズルッ
そのまマ排泄されチまうもンなんだ
だかラ魔力を持ったヤツにほど効果覿面なのサ…


…あの塊に私の魔力が封じ込められてるってワケ!?
この脱力感はそのせい…最ッ悪!
オン
オン
どうダ?オデもなァニンゲンは嫌イじゃねえ
むしろ面白クて気に入ってる
前に迷い込んできたヤツらもちゃ〜んト動かなくなるまデ遊んデやったんだゾ
ぐぅ…
ナデナデ

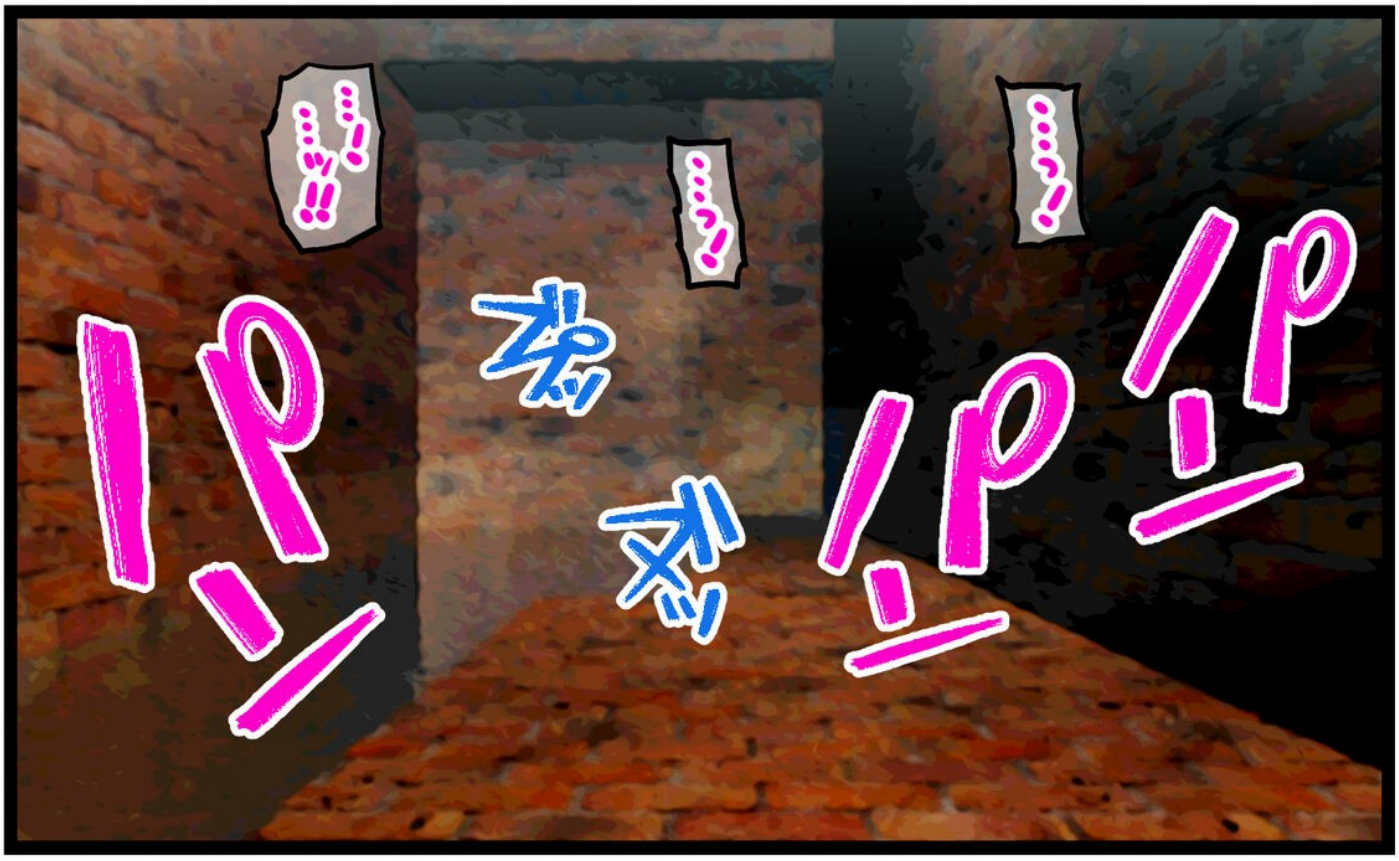

オマエもアイツらみたいに泣イて媚びれバ…
オデ達もスグ壊れないように気を付ケて丁寧ニ遊んでやレるかもしれねえんだガー…


…あはっ！
あはははは！
…何がおかしイ？

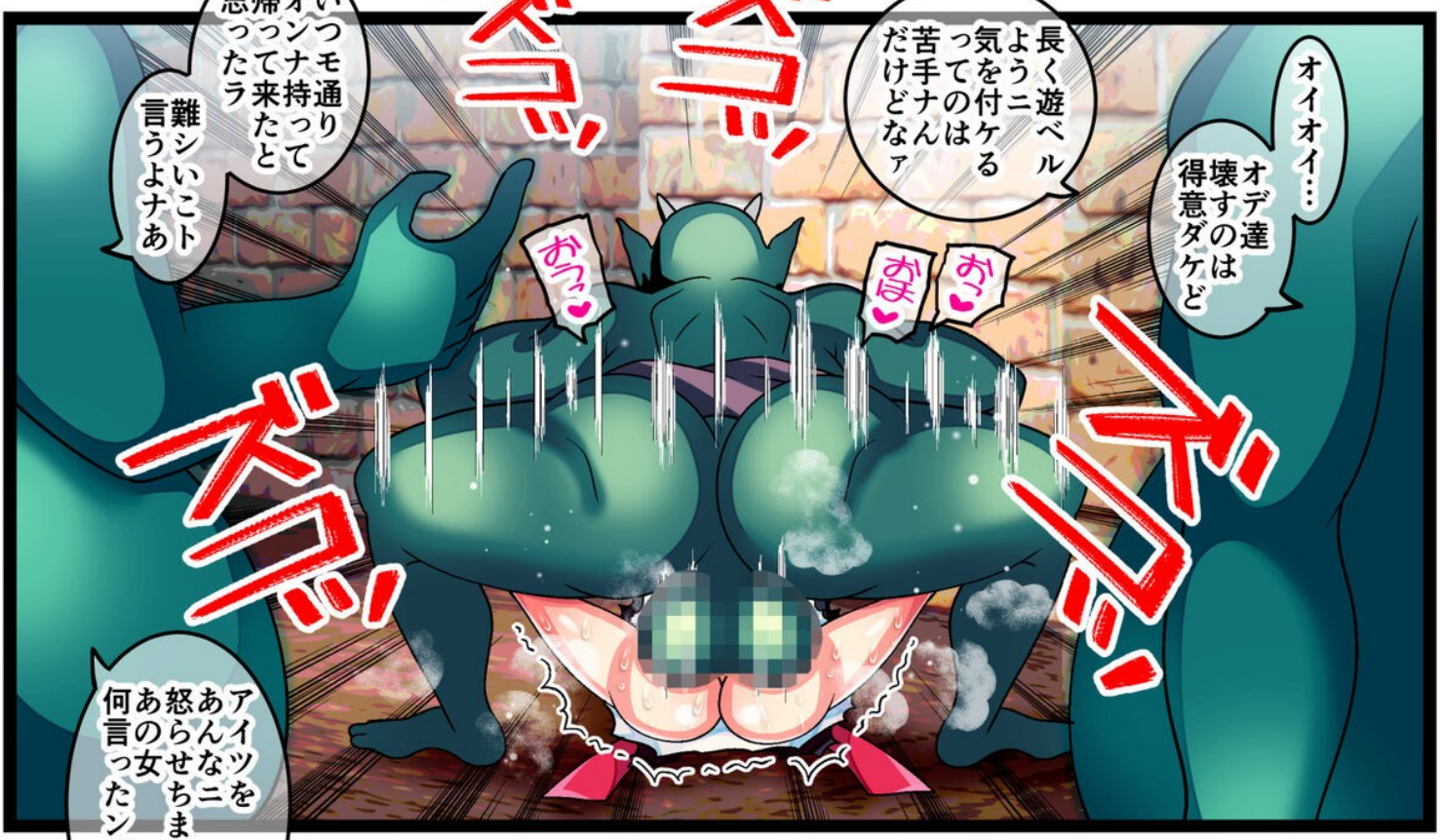

…こうやって
ザコ魔物達の力を
借りなきゃ
アンタら
だけじゃ
何も
出来ない
ってわけね
はぁ…
は…ぅ


この図体が
デカいだけの
下等生物が…！
は…ぅ
ふぅっ
魔女である
この私が
アンタなんかに
頭下げる
くらいなら
ここで今
殺された方が
ずっとマシ！




ハッ
ズボッ
ハッ
ハッ


すっ
ぽっ
パン
パン
パン
パン
おっ
おっ
おっ
ブチ
ブチ
ズズズロロ～
いいカお前ら！絶対殺すなヨ！
コイツはデキルだけ長く生かして長く遊ンデやルんだ
すっ
ぽっ




アイツをあんなニ怒らせちまうとハあの女何言ったンだ～？
ビクビクビクッ♥
ビクビクッ♥
ヒュゴゴゴ


自我を保てル程度に淫虫の媚毒を注入シテ俺ガもう良いと言う日まで毎秒発情させっぱナシにしておケよ！
ほっ!?♡
くひぃ♡
ヘイヘイわかってるよ
ほひっ!?♡
ソク♡
ちくっ♡
ちくっ♡
ちくっ♡
ガクガク
ちくっ♡
ちくっ♡
ビク♡
こ…この…っもっもういいでしょ…っ馬鹿のひとつ覚えみたいに媚毒注入しまくって…っ
ほ♡ほ♡
ガクガク
充分だから…っ私のオマンコ勝手に発情してるからもう充分…っ
おっほ♡


エ、わかんネ
結構テキトーだったシ
…なァ
これ自我保ててンのかァ？
媚毒キメすぎてルだろ
チンポ吸イついて離れネえ
おまえナ～
アトでなんか言ワれても知らねえからナ

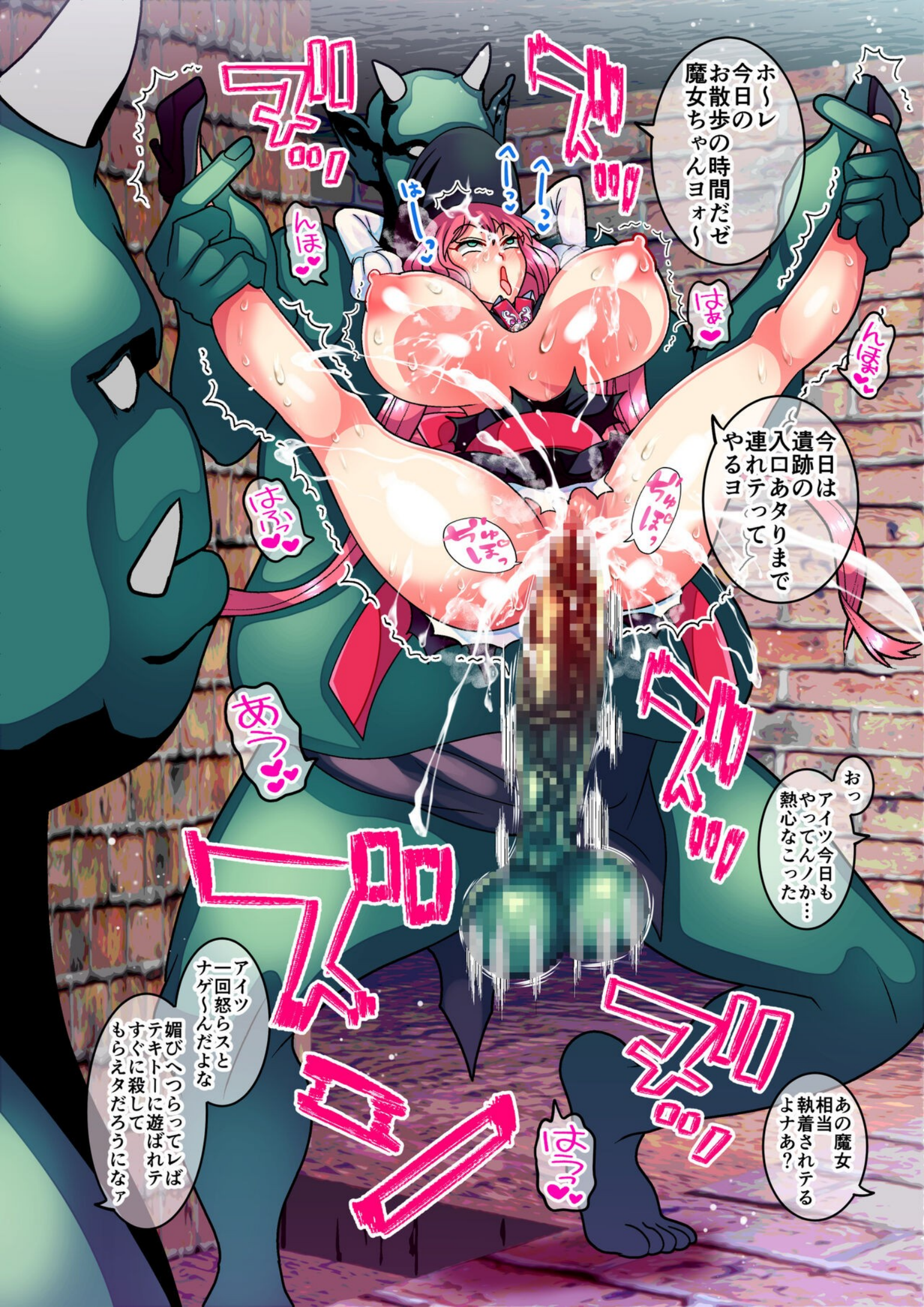

臭いっ♡
クッサっ♡
最っ悪♡

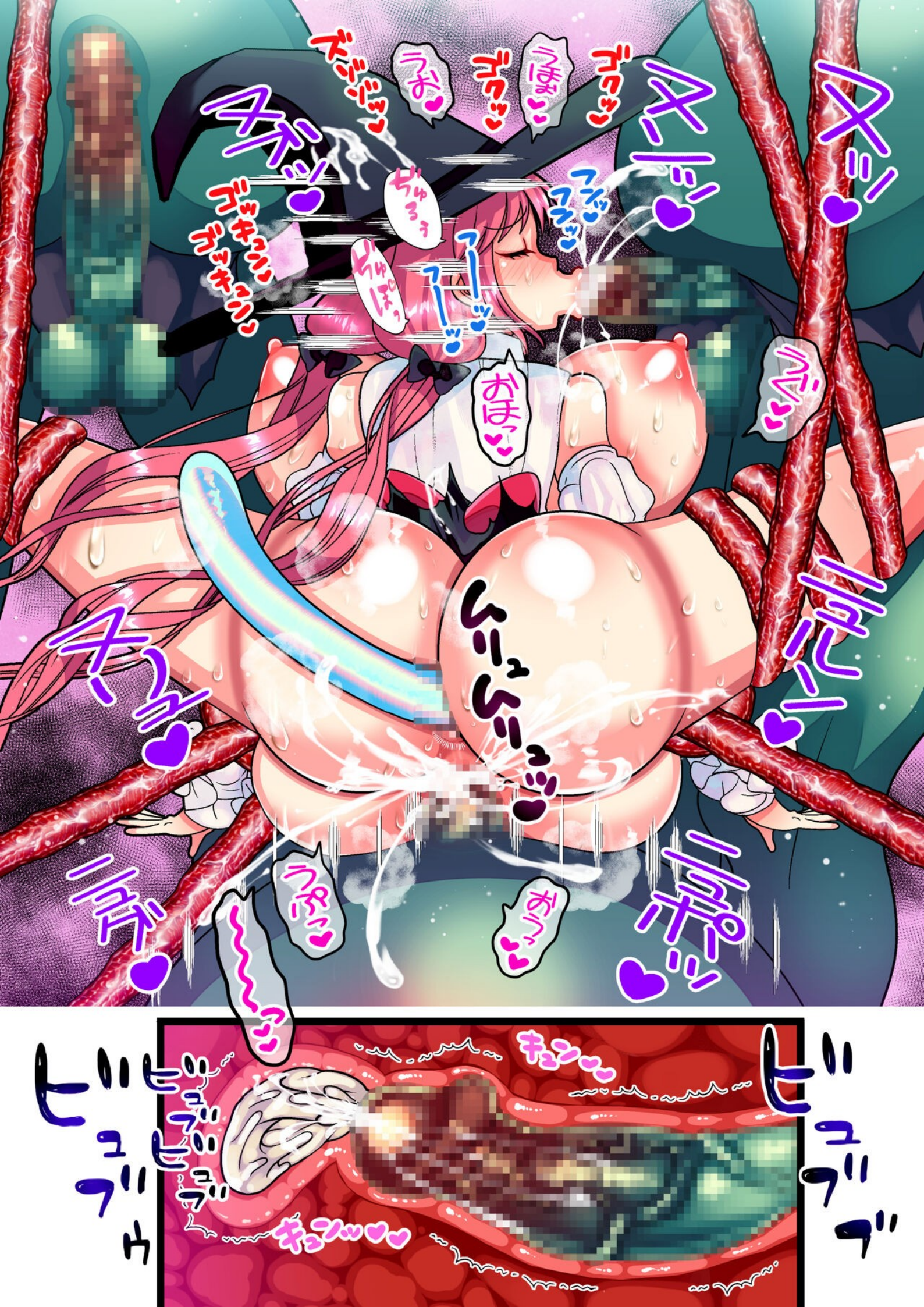

おっ!?
ちょっとバカッ♡
チンポ近っ♡
おっ♡


ギャハハハ！
こいつ
文句言イながら
自分から
チンポ
嗅いでルじゃ
ねえカ
ビュー♥
ゾクゾクゾク
ビュー♥
ぶっぶっぶっ♥
ビュー♥
ビュー♥
ビュー


あ…ああ…っ
お腹く、苦しい…ッ
これ以上入らない…からぁ…！
おごッ♥
パ
ダったらさっサと魔力ゼリー全部出セやっ！
ぱん♥
ぱん♥
ドクッ
ドクッ
ビュッ
ブッ
んほおおおおおッ♥♥♥
ブリブリブリ♥
ミチッ♥
ミチュッ♥


ブリブリうるせえと思ったら魔力排泄の時間か
ブリブリ♡
おほぉ♡
ラメン
フンッ♡
フンッ♡
うほぉ♡
にゅぽっ
にゅるん
アヘッ♡
おーこん
この魔女メ…！時間が経ツと自然と魔力が回復しやがル！
面倒だガ一日3回シッカリ魔力ヲひり出させろヨ！


ホ～レ
今日の
お散歩の時間だぜ
魔女ちゃんヨォ～
ブロロロロ
ブロロロロ
へーっ
へーっ
はーっ
んほ♥
はぁ♥
んほぉ♥
今日は
遺跡の
入口あタりまで
連れテってて
やるヨ
ぢゅぽっ
ぢゅぽっ
はぅっ♥
あう♥
ブロロロロ
ブロロロロ
ブロロロロン
おっ
アイツ今日も
やってんノか…
熱心なこった
あの魔女
相当
執着されテる
よナあ？
はっ♥
アイツ
一回怒らスと
ナゲ～んだよな
媚びへつらってレば
テキトーに遊ばれテ
すぐに殺して
もらえタだろうになァ


ズブッ
ゴクッ
うほっ
ゴクッ
うお
ズブッ
ゴッキュン
ゴッキュン
ゴッキュン
ぢゅるっ
ぢゅぽっ
フーッ
フーッ
フッ
フッ
おほっ
ラブ
ハピー
ポッ
ポッ
ポッ


ズッ♥
ズプッ♥
ズズーー♥
ズロ〜♥
ズッ♥
ヌプッ♥
お〜いいツまでハメてんだよ最後の当番まで回りキらないぞ
はぁ♥
はぁ♥
はっ♥
あっ♥
お〜で〜射精すんのぉ時間かかんだヨ〜
はっ♥
コイツ朝当番にさせたノ誰だよ
あっ♥


ギヒヒッオイラが今日の最後の種付ケ当番様ダぜ〜ッ
待たされスぎて金玉パンッパンダっつ〜の
ズコ♥
ズコ♥
ズコ♥
ズコズコ♥
おっ♥
おほぉ♥
おっ♥
おほっ♥
オイッ気絶はすルなよッ寝る前の魔力排泄がまだダロがッ
おおっ♥
おほおおおっ♥
ズコ♥


イくっ♡
イくっ♡
イくっ♡
んほ♥
イくっ♡
イくっ♡
イくっ♡
イくっ♡
イくっ♡
うまぉ♥♥
んが♥
イくっ♡
イくっ♡♡
んげ♥
うぉ♥
イくっ♡♡♡


イイイ
くくく
♡♡♡
オウッ♥
ズコ
ズコズコ♥
ズコ
ズコン
イイイイイ
くくくくく
♡♡♡♡♡
オホオオオ♥♥
パ
ン
ッ♥
オフッ♥オホッ♥オホォ♥
キュンキュン♥
オウッ♥オッ♥
オオオ♥
ドプドプ
ドピュ!!♥
キュン♥
オ――ッ♥♥


ず～っと
ビュッ♥
ビュク♥
ビュー♥
ビュク♥
ビュビュ♥
ビュプッ♥
ビュー♥
イってるぅん♡


も…
いいでしょ…
一体どれだけ
私を辱めれば
気が済むわけ…
アンタたちだって
もう飽きたはずよ…


お…おねがぃ…


ここまで…
すれば…
満足…でしょ…


それがモノ頼む
態度かァ？
魔女様よォ


……


…お…
…おねがい…します…
も…ころしてください…
ころしてぇ…


ついに魔女様がお高いプライド曲ゲてまで頭下げてんゾ
ゲハハハッ！
魔女様が魔物ニ全裸で媚びるとは無様だナ～


ダイジョブダイジョーブ
そんナことスる元気ガ残ってンならまだまだ生キられるッテ♪
…あは
はは…あはは…

…あのシュガーって女が遺跡に入ってから行ってもう一週間以上経ちますよ

うむ…

有名な魔女だって聞いてましたけど

乳は無駄にでかい割に身体ヒョロかったし

全然強そうに見えなかったですよねえ

…無事に戻って来てくれさえすりゃあ身体がヒョロかろうが乳がでかかろうがどうでもいいんだよ

…でも村長！あの人一応有名人なんでしょ？

そんな人までもしこのまま遺跡で行方不明になったらー…

……


…「遺跡に入った者は二度と戻ってこない」
この噂は一気に広まって村は過疎化する一方になるだろうな
あのシュガーとかいう魔女が無事に戻らなければもう村の復興は諦めるしかねえ
俺らも身の振り方を考えねえとなあ
ハア…世知辛いっすね村長


今日の分の♡魔力ゼリー排泄♡終わりましたぁ～ん♡
チンポッ♡チンポ♡はやくぅ～ん♡
アハッ♡
エヘッ♡
キャハッ♡
おお！シュガーちゃんチンポのおねだり上手になったじゃねえか
俺らミタイな乱暴者でもニンゲンって大事に飼えば長生きすんだな～チョット感動♪
もっと芸仕込んでギリ死なない程度で可愛がってこうナ♡

敗北隷嬢

おまけ短編
『弟子の逆襲』





魔女シュガーが
遺跡へ向かって魔物から
返り討ちに合う本編よりも、
少し前のお話。
本編とは関係のない
おまけエピソードです



はいっお師匠様！

僕は今日から魔女シュガー様の弟子になった

彼女はまだ若いがこの辺りでは既に有名な魔女だ

俺は弟子入りを断ると言う彼女の家の前で土下座しつづけ弟子入りをさせてもらった身…

どんな過酷な魔法修行でも耐えてみせるぞ


おはよう弟子くん
はい！おはようございます！本日からよろしくお願いいたします！
いよいよ…俺の魔法修行生活のスタートだ！
今日から一体何をするんだろう？
大量の魔術書を読破しろ！とか山に住む魔物を一緒に退治しろ！とかそういう胸躍ることが待ち受けてるに違いない
俺は胸を高鳴らせながらお師匠様の言葉を待った


それじゃあまず朝食の準備をして頂戴
それが済んだら午前中は私の服を丁寧に手洗いして洗濯。それからこの家の掃除ね
言っておくけどどれもこれも手を抜けばわかるわよ？チェックするからね
そして正午になる前から昼食の準備を始めること
その後は外にある薬草の畑を手入れしてから庭掃除。最近雑草だらけになってて困ってたからさ丁度いい時に来てくれたわ～
ペラ
ペラ


で、夕方に乾いた洗濯ものを取り込んだらそれは丁寧に畳むこと。あ、私畳み方決めてるからそれ覚えてね
それが済んだら夕食の準備を始めて
そして私が食事をとってる間にお風呂の準備よ。浴槽は毎日きちんと洗うこと。熱すぎずぬる過ぎない温度の湯を張ったらバスタオルと私のナイトウェアを脱衣所に準備しておいて。
ペラペラペラ
で、私お風呂上りは必ず飲酒する習慣があるのよ
その日の気分で飲むお酒を選んでるからアンタはそのお酒に合うおつまみを作ってね
あ、勿論毎回食後に使った調理器具や私が食べ終わった後の皿は綺麗に洗っておくように


さて、今
ざっと説明
したのは
基本中の基本よ
日によって
必要な物を
買いに行かせたり
足りない材料を
森に取りに
行かせたりも
すると思うから
よろしくね
……
ちょっと…
何ぼーっと
してんの？
返事は？
あ、あの…
それって
普通の家事…
ですよね？
しかも
その内容を
全部こなしていたら
魔法の
修行をする時間が
あまり…
というか
ほぼ無いような気が…


はあ？
時間が
無いと思うなら
作れるように
努力すれば
いいだけじゃない
そうしてアンタが
作った自由時間に
私の手が空いてれば
そのタイミングで
修行を
つけてあげても
良いわけだし？
…いや…
しかし…
どう考えても
無理ー…
ゴロッ
弟子は
口答え禁止！
さあさあ
さっさと動きなさい
まずは
朝食の時間よ
っていうかアンタ
朝起きてくるの
遅すぎ！
陽が昇る前には
準備に
入りなさいよね？
で、私が起きた時には
テーブルに朝食が
準備されてるのが
理想ね


……
返事は？
……はい
お師匠様
…無茶苦茶だ
でもそれも
きっと
お師匠様に
何か考えがあっての
ことなんだ
とにかく
彼女に
言いつけられた
家事を全てこなして
いくしかない
立派な
魔法使いに
なるために
頑張るぞ！


一年後


ちょっと弟子〜！何で朝食ができてないのよ寝坊でもしたの？だらしないわね！
…お師匠様今日こそ…僕に魔法の修行をさせてくれませんか？
……は？
僕に魔法の勉強をさせてほしいのです！弟子入りしてこの一年結局家事やお師匠様の気まぐれで追加される用事に忙殺され僕は魔法の修行ができていません！これじゃあ弟子入りする前の独学で勉強していた頃のほうがまだマシでしたよ！
…ふーん


じゃあアンタもういいわ
破門よ破門
荷物まとめて即刻出て行きなさい
……は？
まったく…必死に頼み込むから仕方なく置いてやってたのに何なの？
あのね…私ほどの魔女であれば一目見れば解るわ
アンタ程度の魔力量じゃどこで学ぼうが一人前の魔法使いになんかなれないわよ！
でも夢を見る若者に現実を言っちゃあ可哀そうだと思って
おあつらえ向きの仕事を与えてお情けで使ってやってたのに…
ハン！恩を仇で返すとはこのことねえ


……
頭が…真っ白になるってのはこういうことを言うんだろうな
この魔女に…この女に弟子入りした俺の一年は…一体何だったんだ
これまで朝から晩までこき使われワガママに振り回された一年間の記憶が走馬灯のように頭を巡り
そして俺はー…


…お師匠様
あらアンタ
まだ居たの？
お礼とか挨拶とか
そういうの
いいから
荷物をまとめたなら
さっさと出ておいき
ハハハ…
いえいえ
そう仰らず
「これ」、
今まで
お世話になった
感謝の
気持ちです
ん？
なにかしら？
鈍くさいアンタでも
一丁前に
気を使えるとはねー…






…ほっ♪
…ほっ♪♪
よっ♪♪
ほっ♪♪
ガッ
ブルン
ブルン
ブルン
おっほ♪
おっほ♪


アハハハ…！
無様ですねえ
お師匠様！
いや…
もうこの女は
「元お師匠様」か
彼女は今…
家の近くの森に住む
低級魔物を相手に
交尾を強請って
発情アピールをしている
敵意が無いこと、
服従の証明として
乳・腹・尻を
曝け出しての
無様ダンスは
滑稽の極みだ


ほっ♪おほっ♪
見て見て～ん♡
私は発情期の
ザコ雌で～す♡
どうか♡
魔物様の
お慈悲を
ください～♡
私と～
シュガーと～
交尾してぇ～ん♡

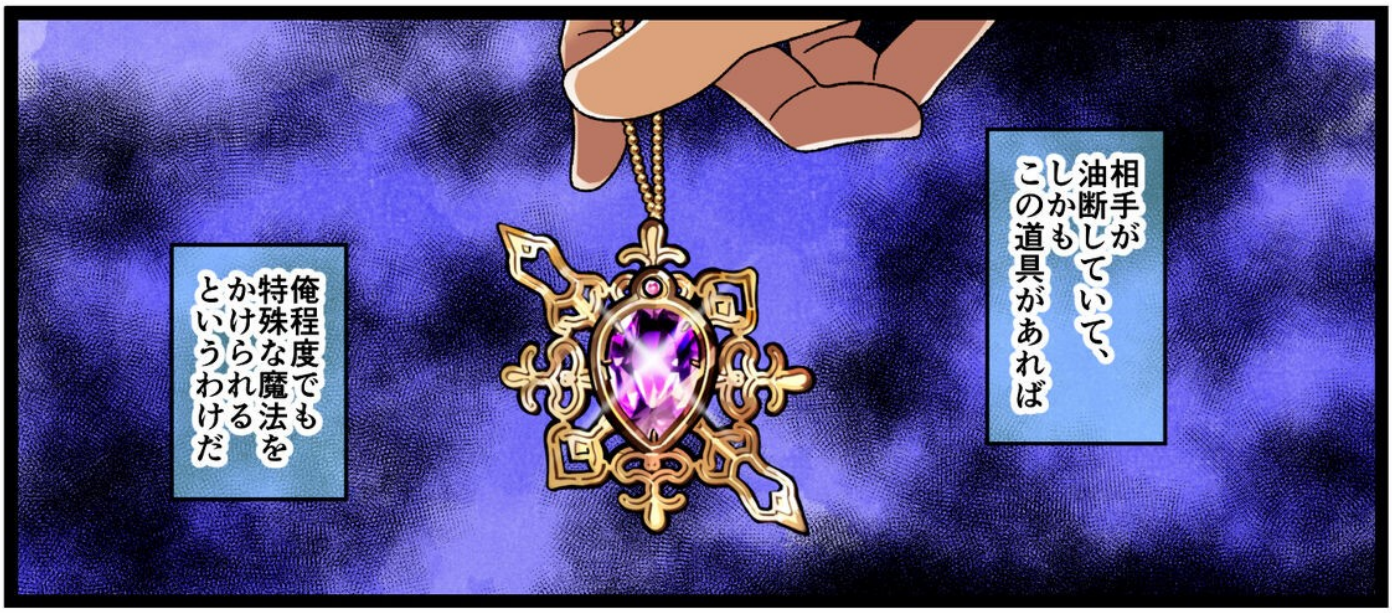

…まさかコイツにここまでの効き目があるとはな
これは魔力を注ぐと発動する魔道具のひとつ…元お師匠が作ったモノだ
この道具が発する光を直接見つめた者の目をくらまし
その意識を塗り替える恐ろしい術がこめられている


「アンタは
魔女なんかじゃない。
発情期の真っ最中で
本能のままに
低級魔物の
チンポを欲する
下劣なザコ雌なんだ」
油断しきっていた
元お師匠様は
魔道具の光を
モロに見ながら
俺の
その言葉を
聞いてしまい
自分を発情期の
ザコ雌と思い込み
魔物チンポを求めて
必死に
乳とケツを
振っていると
いうわけだ

毎日家の中を掃除していた俺は彼女の作った数々の魔道具の置き場所をすべて把握しているし

彼女が実験でこの道具を使ってそのへんの低級魔物に幻術をかけるところも庭仕事中に何度も見かけていたから

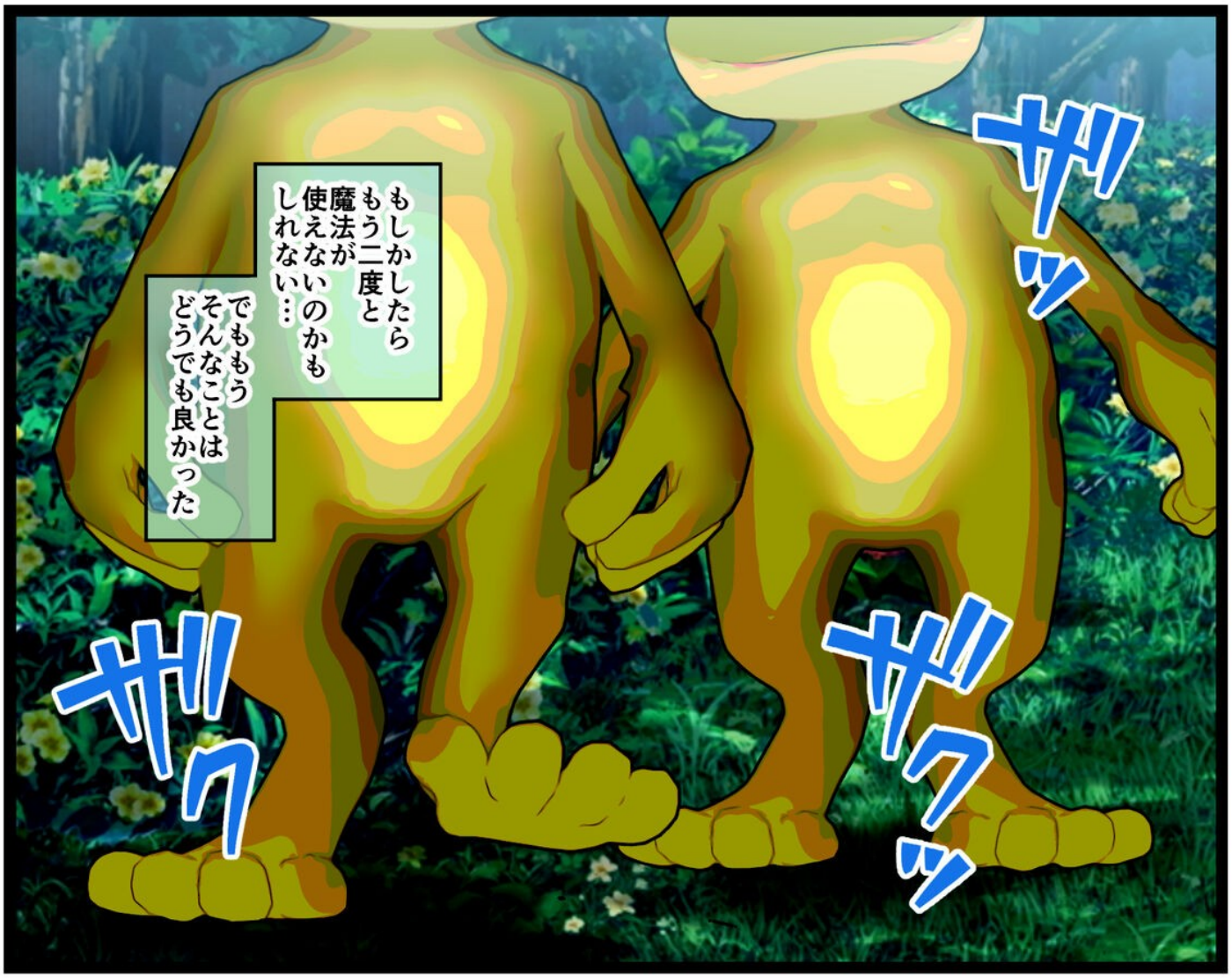
使用方法もなんとなくは把握できていたんだ



相手が油断していて、しかもこの道具があれば

俺程度でも特殊な魔法をかけられるというわけだ


ザッ
しかしさすがは有名な魔女シュガー様の作ったものなだけはある…
身の丈に合わない魔道具を使った反動で俺の身体は魔力を根こそぎ魔道具に吸われてしまったようだ


ザッ
もしかしたらもう二度と魔法が使えないのかもしれない…
でももうそんなことはどうでも良かった
ザクッ
ザク


とにかく俺はこの女に恥をかかせてやりたいんだ
それもちょっとしたモノじゃない…
魔女として…女としてド底辺にまで堕としたかったのだ！


見て見て～ん♡
今ハメて頂けたら絶対確実にオチンポ気持ちよくさせていただきますぅん♡
ぶーっ
ぶーっ
だから～お願い♡♡♡無責任に生チンポでオマンコハメハメしてくださ～い♡
ムチッ
ムチッ
ムチッ
ムチッ
…あのお高くとまった魔女様がオマンコ見せつけて低級魔物をド下品に誘惑とはなまったく…最高のショーが特等席で拝めて笑いが止まらないよ


ペロペロ
レルレル
おっ…♡
おおんっ♡
舌来たっ♡♡
フーフッ♡
フゥッ♡
ハァハァ
魔物様特有の♡
人間ではありえない
長〜いベロ来てる♡
ベロベロ
レルレル
ヌレヌレ
ヌチュヌチュ
ヌレヌレおまんこ悦んで…
速攻で潮噴いてイキますぅ♡
あ〜ん♡すいませんっ♡
一人で気持ちよくなってすいませんっ♡


ドキドキ
ドキドキ
んはあっ♡ついに来たっ♡魔物様の勃起おちんぽ♡来た来た来たぁっ♡
ハアッ♥
ハアッ♥
ハアッ♥
シュガー交尾のお相手に選んでいただけましたっ♡
これからこちらの魔物様とガチ交尾しますっ♡通りすがりの魔物様に♡ラブラブ交尾していただきますっ♡
ぐぐぐ


ズロー
んほおおおおお!?♡
最っ高〜……っ♡
ずちゃ♥♥ぬちゃ♥♥
ぬっ♥♥
ずちゃ♥
ぬる♥♥
本能のままに♡凛々しい魔物の皆様相手に♡初対面にも関わらず♡マン汁垂らして哀願する♡ド下品な私なんかを相手に♡♡
ぬちゃ♥
ずぷ♥♥
本気交尾をキメていただき♡誠にありがとうございますぅんっ♡


パンパンパンパンパンパン
ビクビク
はぁ♥
はぁ♥
はっ♥
あっ♥
はっ♥
あっ♥
はぅっ♥
ぐちゃぐちゃ♥


…発情した雄と雌の匂いが辺りに広がり
隠れて交尾の様子を見ていたらしい他の魔物達もどんどん集まって来た
はーっ…♥
はーっ…♥
ふーっ…♥
おぁ～♥
ビュル♥
ビュルル♥
ドクン♥ドクン

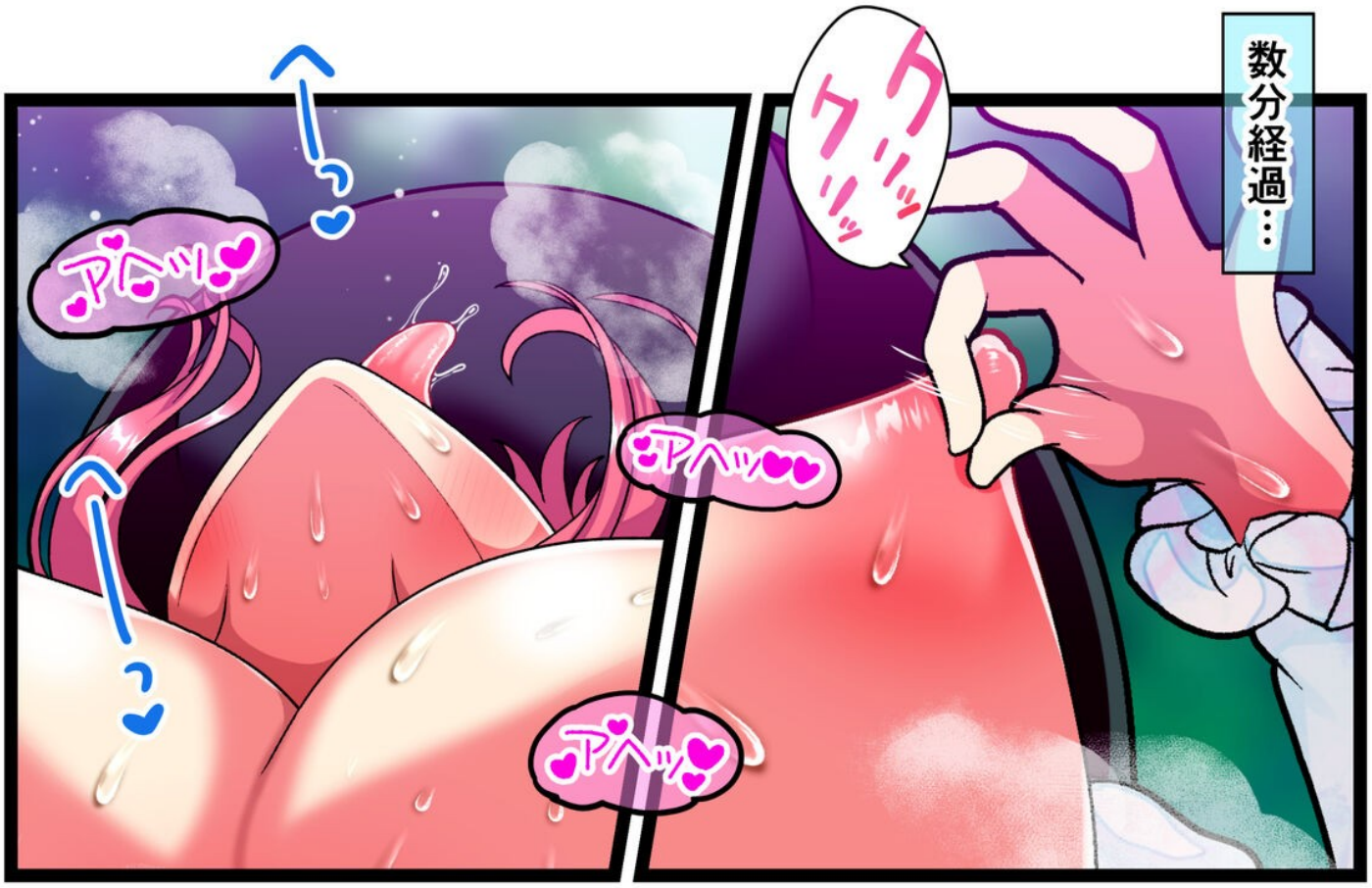

あんっ♡次の魔物オチンポ来たあっ♡♡
シュガーが他の雄とドスケベ交尾するの見て勃起してくれたなんて男らしすぎてマン汁がキュンキュンって溢れちゃう〜っ♡♡
ズプ…
ズリュ…
はーっ♡
はーっ♡
あんっ♡本日はシュガーとの本気交尾にご参加いただきありがとうございますっ♡


そのままっ♡
そのままぁっ♡
私のザコ雌マン肉が売女もドン引きのガバマンになるまでお使いになってくださ〜いっ♡
魔物の皆様の気が済むまでオチンポ♡♡ヌコヌコ♡♡扱いちゃってくらはいっ♡
人間様がお便所で排泄するみたいに♡無遠慮に出しまくってやってくだひゃいっ♡
パーン
パーン
パーン
パーン
パーン
ぱっ♡
ぱっ♡
ぱっ♡
ぐぽ♡
ぐぽ♡
お精子を注いで♡金玉♡スッカラカンになったら♡無責任にヤリ捨ていいでしゅからっ♡


パンパンパンパンパンパンパンパン
あおっんっほ♡♡
もし魔物の皆様のおかげで無事に赤ちゃんデキてたらっ♡
責任持って育てさせていただきましゅからっ♡
ぬ♥
ぬ♥
ぬ♥
ぬ♥
ぬ♥
おお～ん♡♡
しょれがっ発情期のザコ雌であるこのシュガーにお似合いの末路でしゅからぁっ♡


どぴゅっ
どぴゅっ
ずぽっ
ビクッ
ビクッ
おっ！？♡♡
イク！！
まイク♡
イクイクぅイクイク♡
魔物様の♡
優秀な遺伝子を♡
発情マンコで♡
受け止めながら♡
イかせて
頂きますぅっ♡♡
うほぉ♥
ぶんっ♥
ぶんっ♥
ぶんす♥
うほぉ♥
うお♥♥
うぐ♥♥


ズボッ♡
おうっ♡
おほっ♡
おふっ♡
ズボッ
ズボッ
ふーっ♡
ふーっ♡
ふーっ♡
ハハ…
こりゃあ酷い
普段だったら
捻り潰して
魔法研究の
材料にしている
ような
低級魔物を
相手に
本気で
感じまくってやがる
人間の男にだって
こんなに
媚びへつらったこと
なさそうな
高圧的な女なのにさ…


数分経過…
クリッ
クリッ
アヘッ♥
アヘッ♥♥
へっ♥
へっ♥
アヘッ♥


むわわ…♥
アヘッ♥♥
アヘッ♥
元お師匠様はとりあえずその場に居るザコ魔物全員と一発ずつハメたが…


はーッ♥
はーッ♥
ふーッ♥
あ…ああ…っ♥
足りないっ♥♥
セックスっ♥♥
交尾っ♥
種付けっ♥
まだ満足できないらしい…
ムチッ♥
ムチッ♥
ムチッ♥
全然足りないっ♥


ズイッ
というわけでガチ交尾♡二周目♡イきま～す♡
お次の方♡お待たせしましたぁんっ♡
交尾っ♡交尾お願いしますぅ～っ♡


オ♥ウ♥ン♥!?
オホオオオ♥!?
はっ♥
ほっ♥
はへっ♥
入口


ズズズッ
ズルッ
ウヒィ♥
アヘッ♥
アヘッ♥
ウオ♥
ウヘェ♥
ウホォ♥
ズボッ
アヘッ♥


ビュッ♥
ビュクッ♥
ビュブッ♥
ビュビュッ♥
ビュルル♥
ビュウウッ♥


はは
はは
ドロォ♡


ドスッ
おっへえええ♥
休む間も無くの
次の方
速攻ハメハメ
ありがとう
ございますっ♥♥
ずりゅ♥
んほおおおおっ♥
イグイグ♥♥
イグ～ッ♥♥♥♥
ずーっ♥
ずぷっ♥
ずぶっ♥
ずちゃ♥
ずにゃ♥
ずーっ♥
ずぼっ♥
今日孕むっ♥
絶対
孕みますっ♥
ありがとう
ございますぅっ♥


…さてと
俺程度の魔力量じゃ
この魔法は
そろそろ
時間切れだろうな
元お師匠様が
自意識を取り戻し
自分が
ザコの魔物相手に
本気セックス
していた事実に
驚き取り乱す様子も
見たかったけどー…
それまで
ここでチンタラ
待ってたんじゃ
俺、正気に戻った
元お師匠様に
見つかって
絶対に
殺されちまうよ


というわけで…
俺はこのあたりで逃げ出すとしますか
さようなら元お師匠様
もう二度と貴女と会うことはないでしょう…




オリジナル
同人誌シリーズ
『堕散る華』
現代で活躍する
退魔士の
少女たちの物語
各配信サイトにて
配信中

単行本
「絶望ハメ堕ちＪＫ」



単行本
「抱きたい女の発情スイッチ！」





単行本
「アヘイキ! 少女性活指導♡」





作品名：敗北隷嬢
制作日：2022年06月10日
サークル：ぼたもちの宴
作画：ナユザキナツミ
(pixiv ID)244834
(twitter)https://twitter.com/nayuzaki

この作品は
無断転載・ｗｅｂへのアップロード等
一般の目に触れる場所への
公開は一切厳禁です
また、この本は成人向けの為
18歳未満の観覧はご遠慮ください